



国際空港建設で大きな転機

国際空港の建設に向けて

昭和37年、池田内閣は羽田に代わる新空港の建設を発表。昭和41年7月に新空港を三里塚に建設すると閣議決定されました。

藤倉市長は「本市にとつて有史以来の出来事であり、一歩誤らんか本市将来の命運を左右するような問題」と述べ、空港建設に伴って必要となる交通網、住宅、学校、上下水道などの整備に対応するべく、「成田空港対策部会」を設置。一方で反対運動は苛烈となり、昭和43年の2、3月には市役所前で反対派と機動隊が衝突しました。

進むインフラの整備

交通網の整備は急ピッチで進み、甚兵衛大橋、長豊橋が昭和43年に開通、同年3月には国鉄成田線の千葉〜成田間が電化されました。昭和44年5月には、国道51号線の佐倉〜佐原間が舗装されています。また、昭和44年3月、成田ニュータウンの建設が開始され、昭和47年には一

般の入居が始まりました。

昭和44年8月、「花と駒の牧場」として広く親しまれていた宮内庁下総御料牧場は、空港の建設予定地となったため、栃木県高根沢町に移転しました。最後の桜祭りには20万人もの人々が訪れ、名残を惜しまました。

新勝寺大本堂の落慶

昭和43年3月、成田山新勝寺の大本堂が落慶。2カ月にわたる落慶記念大開帳が行われました。奉納歌舞伎、講社中約1万人のお練り、6年ぶりに成田祇園祭での山車・屋台の曳き廻しが行われるなど、多くの行事が執り行われました。

市民憲章の制定

昭和46年にスタートした長谷川市政の最初の仕事は、「まちづくりの目標」としての市民憲章の制定でした。憲章の草案を市民から募集し、同年11月3日に第二信徒会館で発表され、成田小学校の児童5人が壇上で憲章の全文を読み上げました。

昭和39年〇1964

4月●八生中と公津中が統合し西中学校が開校

●成田のおどり花見が県の無形民俗文化財に指定

5月●市制施行10周年記念式典を挙行¹

●諸岡長蔵氏を名誉市民に推挙

6月●公津公民館がオープン

10月●東京オリピック聖火が通過⁵

昭和40年〇1965

4月●成田市消防本部・消防署を設置

5月●成田市農業協同組合が発足

昭和41年〇1966

4月●寺台に学校給食センターが完成

6月●成田市が首都圏整備法の「近郊整備地帯」に指定

7月●三里塚に新東京国際空港建設の閣議決定²

12月●成田局の電話ダイヤル化が完成

昭和42年〇1967

3月●(財)成田市開発協会が設立

4月●西中の新校舎が完成

6月●成田〜松崎間に定期バスが開通

8月●宗吾御一代記念館がオープン³

昭和43年〇1968

1月●甚兵衛大橋開通

2月●長豊橋開通

3月●国鉄千葉〜成田間の電化工事が完成

●成田山新勝寺大本堂が落慶、御開帳⁴

昭和44年〇1969

1月●野毛平工業団地の造成がスタート

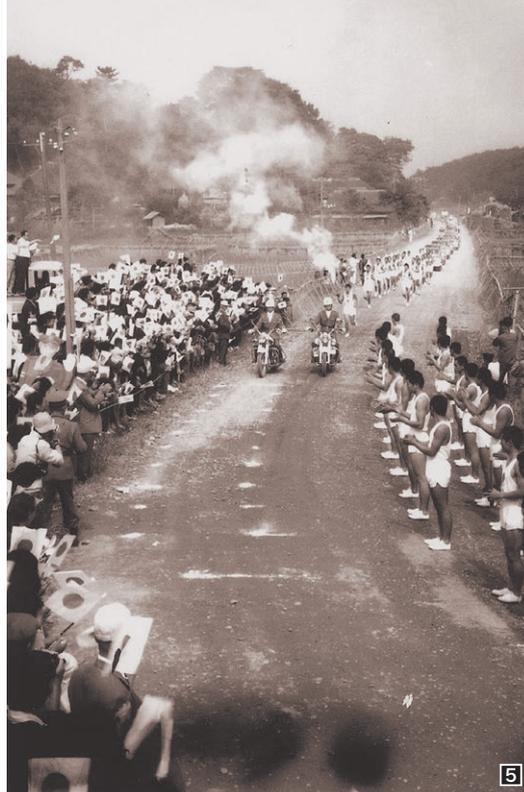
2月●県営印旛沼干拓事業完了

3月●成田ニュータウン建設事業着手

4月●御料牧場で最後の桜まつりが開催

5月●国道51号の佐倉〜佐原間の舗装が完成

●成田老人大学が開校



1第2信徒会館で市制10周年記念式典が挙行される2三里塚を中心とする地区に空港設置の閣議決定がなされる3宗吾御一代記念館が開館。記念式典が挙行される4大本堂落慶を祝い、ラインダンスを披露する松竹歌劇団5東京オリンピックの聖火が成田市を通過6下総御料牧場の閉場式

プレイバック
あの日・あの時 ②

成田ニュータウンの 一般入居スタート(昭和47年)

昭和41年7月、新東京国際空港が本市に建設されることが決まりました。それに伴い、空港、空港関連企業の就業者や市外から転入する人のための居住地区として、JR成田駅西方の丘陵地帯に成田ニュータウンの建設が計画されました。事業面積は487haで、人口6万人、住宅約1万6,000戸を想定。地区センターを中心とした8住区に小中学校・医療施設・ショッピングセンターなどが配置される近代的なまちづくりを目指したものでした。

造成は昭和44年に始まりました。造成の際、区域内にある八代玉作遺跡や船塚古墳など多くの遺跡は保

存され、現在も緑地や公園としてその姿をとどめています。昭和46年、県の告示により赤坂・中台・加良部などの新大字が誕生し、その年のうちに中台地区にて運輸省(現国土交通省)の公務員を対象とした入居が始まりました。翌47年には同じく中台地区にて、いよいよ一般の入居が開始されました。



造成中の成田ニュータウン

- 昭和45年 ○1970
 - 1月 ●市役所に初の電子計算機を導入
 - 4月 ●成田総合高等職業訓練校が開校
 - 成田市史編さん委員会が発足
 - 8月 ●市街化区域、市街化調整区域施行
- 昭和46年 ○1971
 - 3月 ●市の木に「梅」を指定
 - 4月 ●藤倉武男氏を名誉市民に推挙
 - 5月 ●市長選挙で長谷川録太郎氏が当選
 - 6月 ●成田市消防署三里塚分署が開設
 - 8月 ●大谷津運動公園野球場がオープン
 - 10月 ●防音校舎第1号・三里塚小学校舎が完成
 - 東関東自動車道の千葉～富里間が開通
 - 11月 ●「成田市民憲章」を制定
- 昭和47年 ○1972
 - 3月 ●「成田市史研究」第1号が刊行
 - 4月 ●市立第1号の加良部保育所が開所
 - 向台小学校が開校
 - 市民相談室がスタート
 - 8月 ●東関東自動車道の富里～成田間が開通
 - 市長への手紙がスタート
 - 9月 ●成田ニュータウンの一般入居がスタート
- 昭和48年 ○1973
 - 空港対策室がスタート
 - 11月 ●第1回市民運動会が開催
 - 4月 ●老人福祉センターがオープン
 - 加良部小、中台が開校
 - 5月 ●成田用水事業がスタート
 - 中台運動公園野球場がオープン
 - 6月 ●中台運動公園にテニスコートとバレーボールの兼用コートがオープン
 - 7月 ●大谷津運動公園市民プールが完成
 - 10月 ●若潮団体が開催。軟式野球が大谷津球場ほか4会場
- 昭和49年 ○1974
 - 6月 ●市内施設見学会がスタート
 - 8月 ●御料牧場が栃木県高根沢町に移転
 - 12月 ●成田ニュータウンの造成がスタート